

稚内タツナラシ山ウィンドファーム（仮称）

計画段階環境配慮書

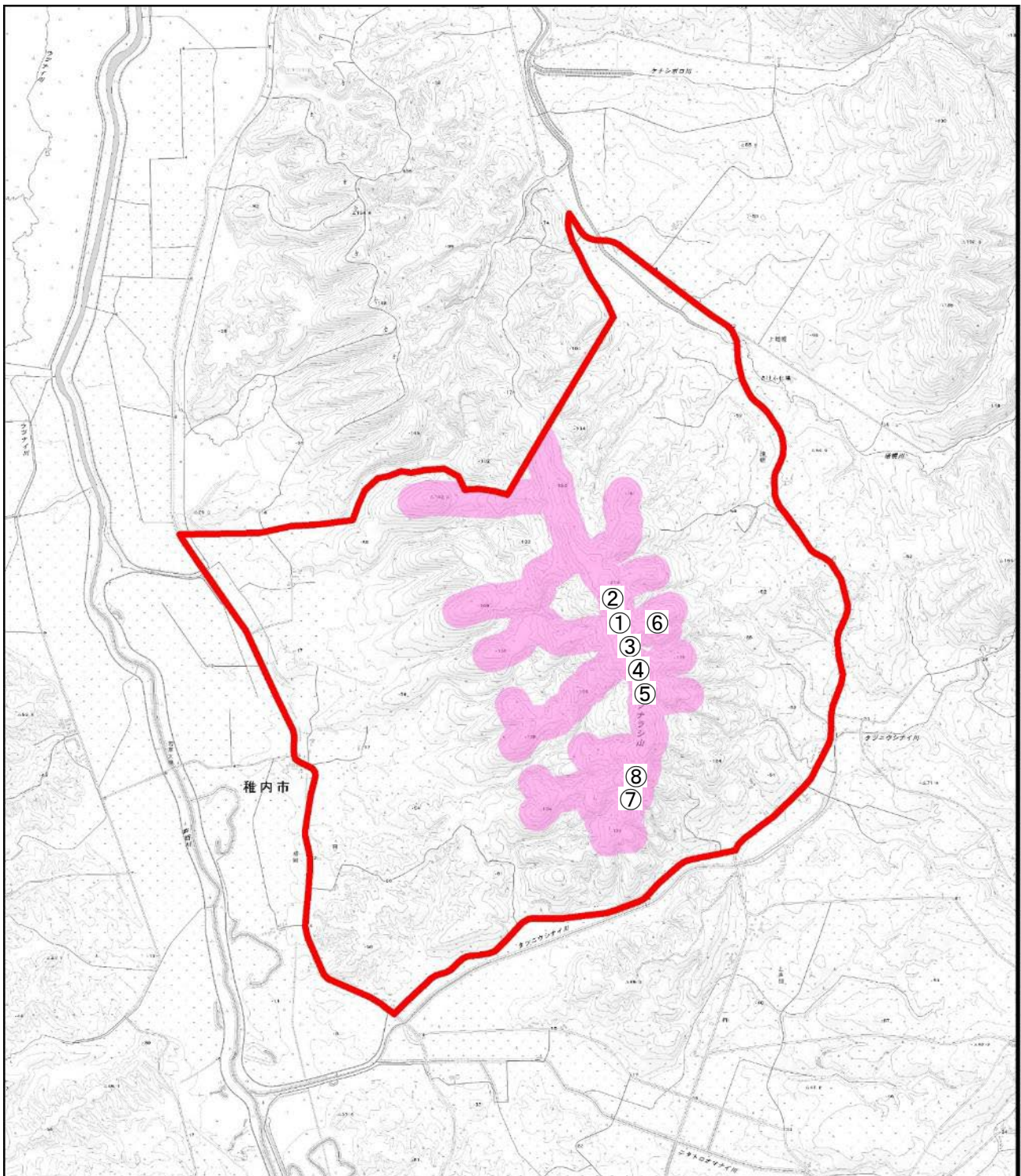
— 事業者回答（1次）添付資料 —

目次

別添 2-2	「表 2.2-1 風力発電機設置想定範囲のうち主稜線の様子」のおおよその写真撮影位置 ..	1
別添 3-8	植生自然度 10, 9 の植物群落	3
別添 3-16	保安林の範囲	5
別添 3-22	隣含有量についての排水基準が適用される湖沼・公共用水域の位置.....	7
別添 3-23	上乗せ排水基準が適用される海域及び公共用水域の位置.....	9
別添 4-5	オジロワシの主な生息環境	11
別添 4-10	メグマ沼自然公園	15

別添 2-2 「表 2.2-1 風力発電機設置想定範囲のうち主稜線の様子」のおおよその写真撮影位置

「表 2.2-1 風力発電機設置想定範囲のうち主稜線の様子」のおおよその写真撮影位置は、図 1 に示すとおりです。



凡例

- 事業実施想定区域
- 風力発電機設置想定範囲

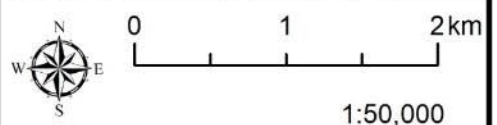
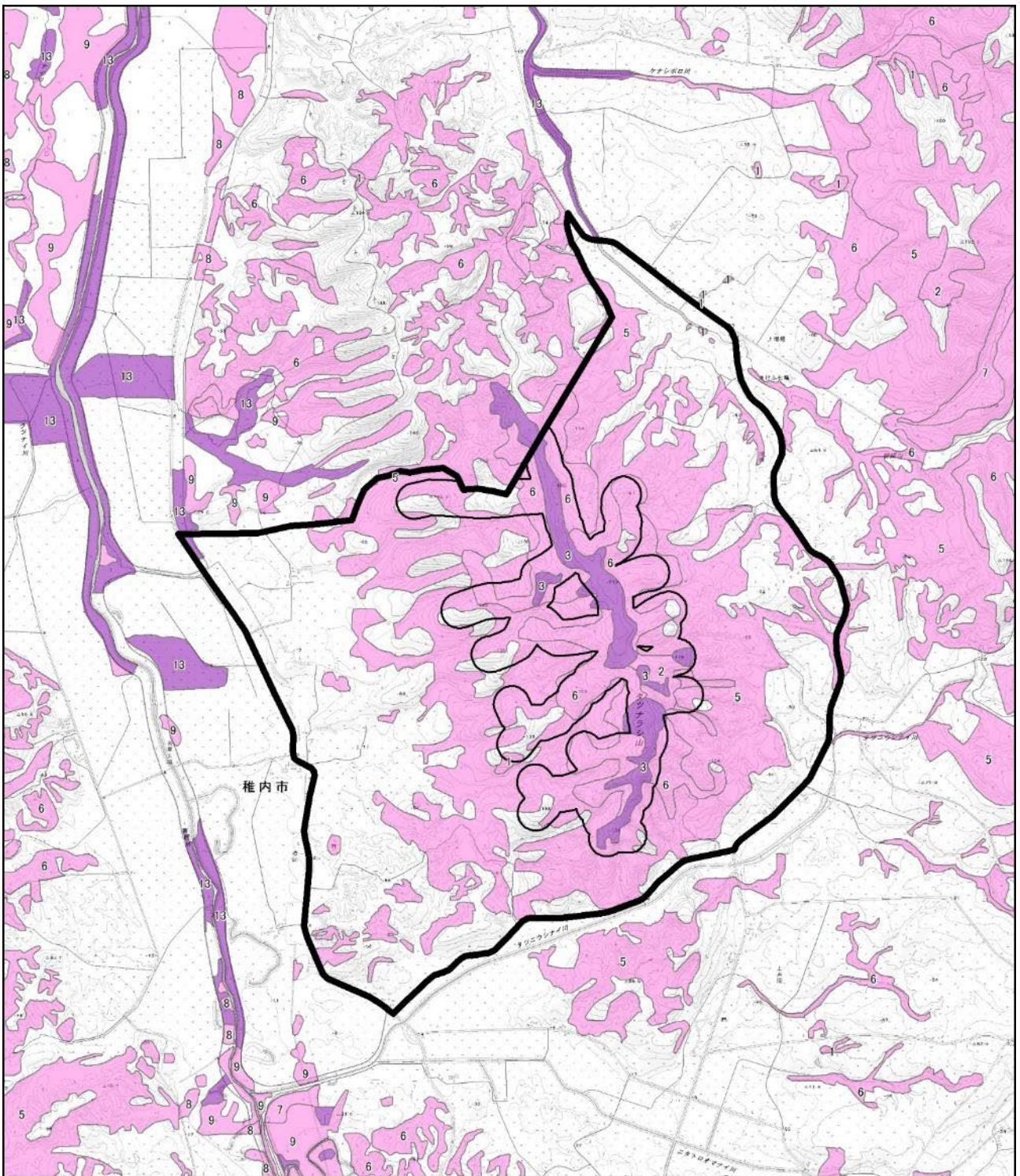


図 1 おおよその写真撮影位置

別添 3-8 植生自然度 10, 9 の植物群落

植生自然度 10, 9 の植物群落の分布状況は、図 2 に示すとおりです。



凡例

- 事業実施想定区域
- 風力発電機設置想定範囲
- 植生自然度9
- 植生自然度10

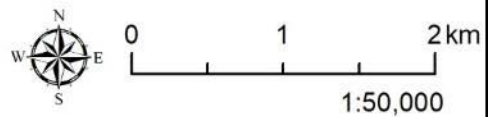
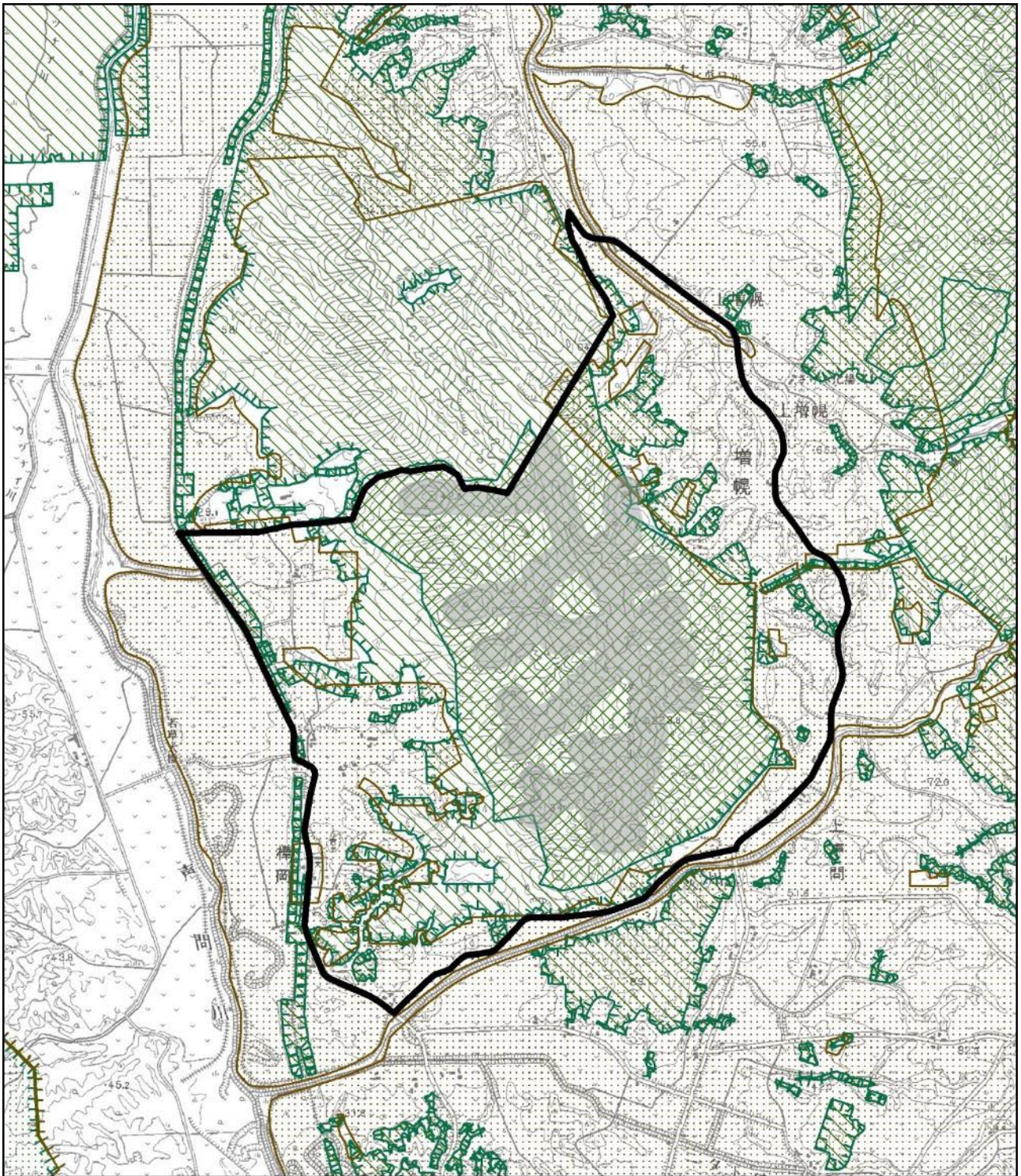


図 2 植生自然度 10, 9 の植物群落の分布状況









別添 3-16 保安林の範囲

以下の箇所について修正します。

- ・配慮書 P118 の図 3.2-2



凡例

- | | |
|---|---|
|  事業実施想定区域 |  農業地域 |
|  風力発電機設置想定範囲 |  農用地区域 |
| |  森林地域 |
| |  国有林 |
| |  地域森林計画対象民有林 |
| |  保安林 |

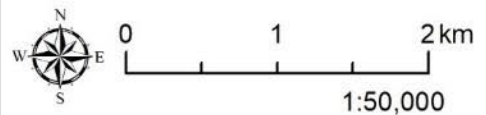
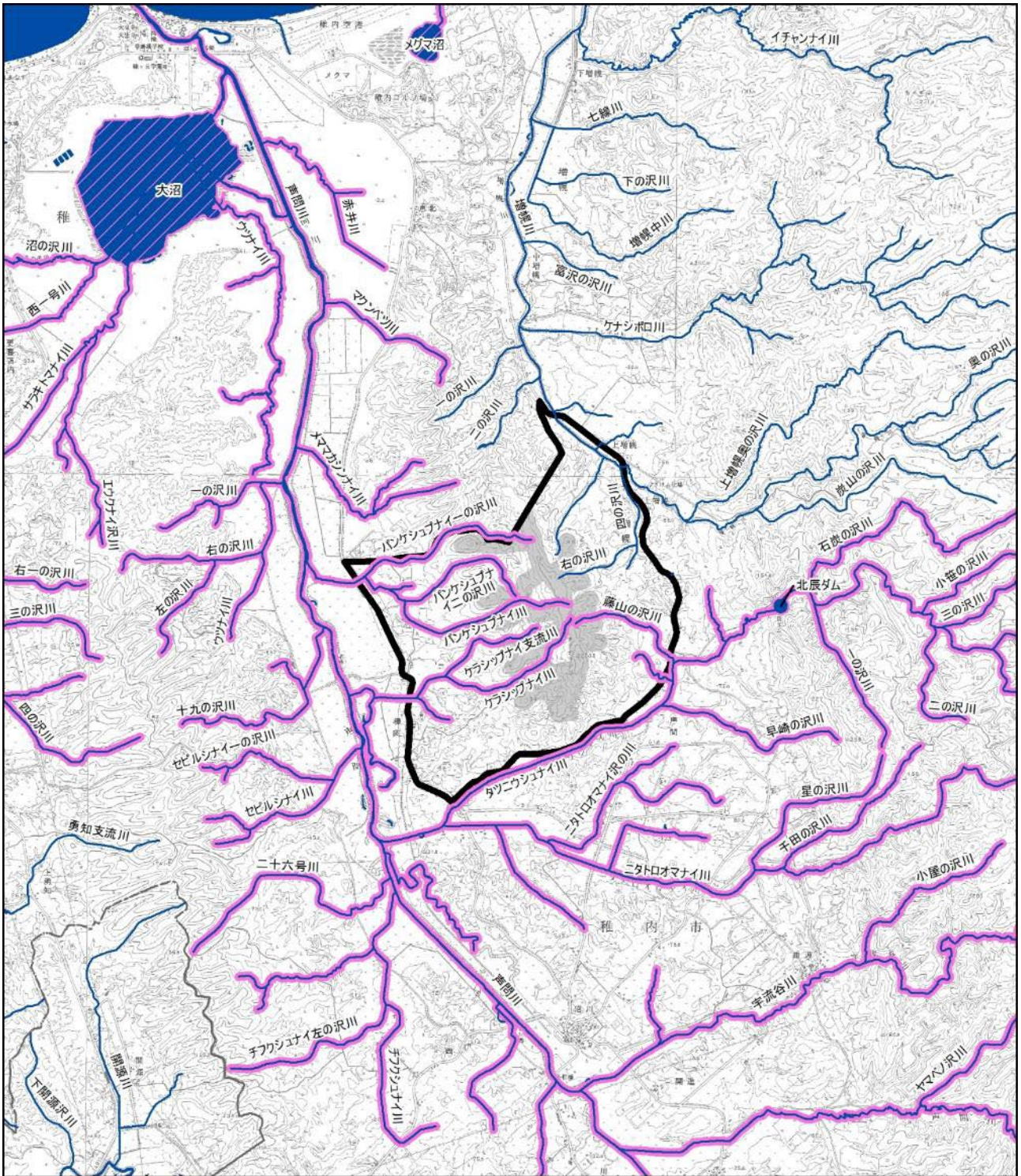


図 3.2-2 農業地域及び森林地域

別添 3-22 磷含有量についての排水基準が適用される湖沼・公共用水域の位置

以下の箇所について修正します。

- ・配慮書 P153 の図 3.2-12



- 凡例
- 事業実施想定区域
 - 燐含有量についての排水基準が適用される公共用水域
 - 風力発電機設置想定範囲
 - 燐含有量についての排水基準が適用される湖沼
 - 河川
 - 海域、湖沼
 - ダム

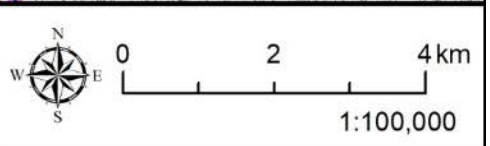


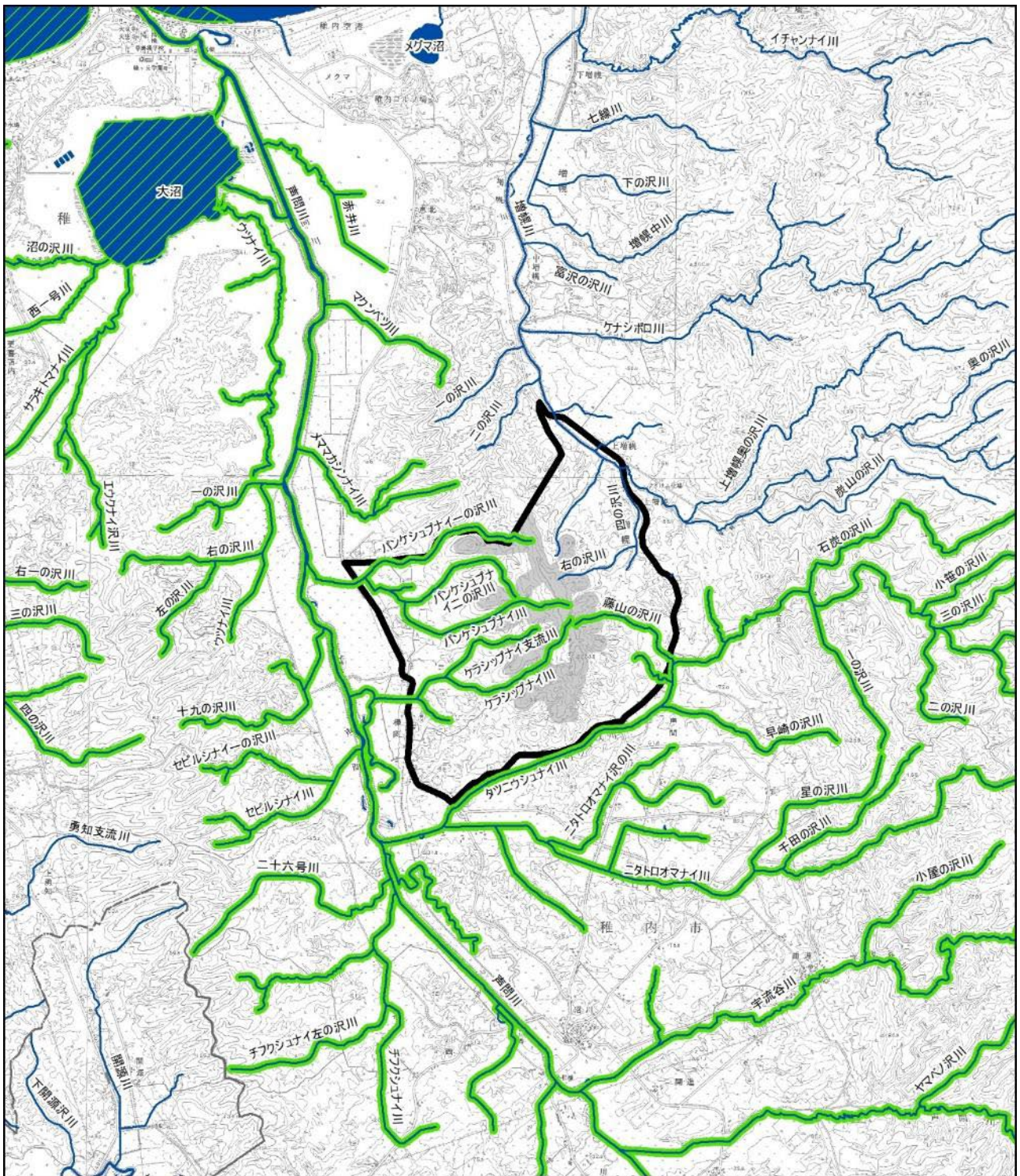
図 3.2-12 燐含有量についての排水基準が適用される湖沼・公共用水域の位置

出典：「排水基準を定める省令別表第二の備考 6 及び 7 の規定に基づく窒素含有量又は燐含有量についての排水基準に係る湖沼」(昭和 60 年環境庁告示第 27 号、最終改正令和 5 年環境省告示第 3 号)

別添 3-23 上乘せ排水基準が適用される海域及び公共用水域の位置

以下の箇所について修正します。

- ・配慮書 P155 の図 3.2-13



<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施想定区域 風力発電機設置想定範囲 河川 海域、湖沼 稚内海域 (公共用水域・河川) 稚内海域 (公共用水域・海域、湖沼) 	
	<p>0 2 4 km</p> <p>1:100,000</p>
<p>図 3.2-13 上乗せ排水基準が適用される海域及び公共用水域の位置</p>	

出典：「北海道の水質汚濁対策(工場・事業場排水)について」
 (北海道 HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/khz/mizukankyo/suidakuboushi.htm>)、2023年8月確認

別添 4-5 オジロワシの主な生息環境

以下の箇所について修正します。(赤字)

- ・配慮書 P210～211 の表 4.3-5(1)～(2)
- ・配慮書 P235 の表 4.3-15

表 4.3-5(1) 動物の重要な種及び主な生息環境(鳥類)

No.	目名	科名	種名	主な生息環境									
				開放水域 (海域)	海岸	開放水域 (河川・湖沼)	樹林	草地	牧草地	湿地等	耕作地等	市街地等	
1	キジ	キジ	エゾライチョウ				●						
2			ウズラ		●	●		●	●	●	●		
3	カモ	カモ	サカツラガン			●				●	●		
4			ヒシクイ			●		●				●	
5			マガン		●	●							●
6			インドガン			●					●	●	
7			ハクガン			●							●
8			コクガン	●	●	●							●
9			オシドリ			●	●				●		
10			トモエガモ			●							
11			シノリガモ	●	●	●							
12	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ			●	●	●		●	●		
13	カツオドリ	ウ	ヒメウ	●	●								
14	ペリカン	サギ	ミゾゴイ				●						
15			チュウサギ			●		●		●	●		
16		トキ	クロツラヘラサギ		●	●				●	●		
17	ツル	ツル	タンチョウ	●		●				●	●		
18	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ				●						
19	チドリ	チドリ	イカルチドリ			●				●	●		
20			シロチドリ	●	●	●							
21			メダイチドリ	●	●								
22		セイタカシギ	セイタカシギ		●	●				●			
23		シギ	オオジシギ		●	●			●	●	●		
24			オオソリハシギ		●				●				
25			ホウロクシギ		●				●	●			
26			ツルシギ		●	●						●	
27			アカアシシギ		●					●	●		
28			タカブシギ		●	●				●	●		
29			オバシギ		●				●				
30			コオバシギ		●					●			
31			サルハマシギ		●				●	●	●		
32			ハマシギ		●	●				●	●		
33			ヘラシギ		●								
34		カモメ	ウミネコ	●	●	●							
35			オオセグロカモメ	●	●	●							
36		ウミスズメ	ウミガラス	●	●								
37			ケイマフリ	●	●								
38			マダラウミスズメ	●			●						
39			ウミスズメ	●	●								
40		タカ	ミサゴ	ミサゴ		●	●						
41			タカ	オジロワシ		●	●	●					
42				オオワシ		●	●	●					
43				チュウヒ			●		●		●		
44				ハイタカ				●					
45				オオタカ				●	●				●
46				クマタカ				●					

表 4.3-5(2) 動物の重要な種及び主な生息環境(鳥類)

No.	目名	科名	種名	主な生息環境									
				開放水域 (海域)	海岸	開放水域 (河川・湖沼)	樹林	草地	牧草地	湿地等	耕作地等	市街地等	
47	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク				●						
48			シロフクロウ					●	●		●		
49			ワシミミズク		●		●						
50			シマフクロウ			●	●						
51			キンメフクロウ				●						
52	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン				●						
53	キツツキ	キツツキ	コアカゲラ				●						
54			オオアカゲラ				●						
55			クマガエラ				●						
56	ハヤブサ	ハヤブサ	シロハヤブサ		●	●		●					
57			ハヤブサ		●	●		●			●		
58	スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ				●						
59		モズ	アカモズ			●	●	●					
60		センニュウ	マキノセンニュウ			●		●	●	●			
61		セキレイ	ツメナガセキレイ					●	●	●	●		
62		アトリ	ギンザンマシコ				●					●	
63		ホオジロ	ホオアカ		●	●			●	●	●	●	
64			シマアオジ			●		●	●	●			
計	14 目	25 科	64 種	12 種	32 種	34 種	22 種	19 種	6 種	22 種	22 種	1 種	

※ 種の分類、配列は原則として「日本鳥類目録 第7版」(2012年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4.3-15 重要な動物の主な生息環境への影響及び
 飛翔性動物のブレードへの接触による影響の予測結果

主な生息環境	事業実施想定区域及びその周囲における該当する可能性のある環境類型区分	該当する分類群(種数)	影響の予測結果
開放水域(海域)	—	鳥類 (12種) 魚類 (11種)	事業実施想定区域内に主な生息環境が存在しないことから、地形改変及び施設の存在に伴う重要な動物の主な生息環境への重大な影響が生じるおそれはないと予測する。 しかしながら、事業実施想定区域から開放水域(海域)及び海岸までは9km程度であり、これらの環境を主な生息環境とするコウモリ類及び鳥類が飛来し、風力発電機のブレード回転域を飛翔した場合には、施設の稼働に伴うブレードへの接触による重大な影響(バットストライク及びバードストライク)が生じるおそれがあると予測する。
海岸	—	哺乳類 (1種) 鳥類 (32種) 昆虫類 (4種) 底生動物 (3種)	事業実施想定区域内に主な生息環境が存在し、その一部が改変される可能性があることから、地形改変及び施設の存在に伴う重要な動物の主な生息環境への重大な影響が生じるおそれがあると予測する。 また、これらの環境を主な生息環境とするコウモリ類及び鳥類が風力発電機のブレード回転域を飛翔した場合には、施設の稼働に伴うブレードへの接触による重大な影響(バットストライク及びバードストライク)が生じるおそれがあると予測する。
開放水域(河川・湖沼)	開放水域	鳥類 (34種) 両生類 (2種) 昆虫類 (20種) 魚類 (23種) 底生動物 (10種)	
樹林	落葉広葉樹林 落葉広葉樹林(溪畔・沼沢林) 針広混交林 常緑針葉樹林 植林	哺乳類 (15種) 鳥類 (22種) 両生類 (2種) 昆虫類 (3種)	
草地	草地	哺乳類 (5種) 鳥類 (19種) 昆虫類 (9種)	
牧草地	牧草地	鳥類 (6種)	
湿地等	湿原・河川・池沼植生	哺乳類(1種) 鳥類 (22種) 爬虫類(1種) 昆虫類 (18種)	
市街地等	市街地等	哺乳類(6種) 鳥類(1種) 昆虫類(2種)	
耕作地等	—	鳥類 (22種) 両生類 (1種) 昆虫類(1種) 魚類 (2種) 底生動物 (6種)	事業実施想定区域内に耕作地等が存在しないことから、地形改変及び施設の存在に伴う重要な動物の主な生息環境への重大な影響が生じるおそれはないと予測する。 しかしながら、事業実施想定区域から耕作地等(畑雑草群落)までは9km程度であり、これらの環境を主な生息環境とする鳥類が飛来し、風力発電機のブレード回転域を飛翔した場合には、施設の稼働に伴うブレードへの接触による重大な影響(バードストライク)が生じるおそれがあると予測する。

別添 4-10 メグマ沼自然公園

主要な眺望点（メグマ沼自然公園）と可視領域の状況は、図 3 に示すとおりです。



- 凡例
- 主要な眺望点
 - 可視領域

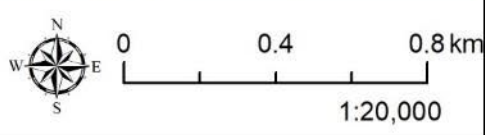


図 3 主要な眺望点（メグマ沼自然公園）と可視領域の状況